

平成 27 年 5 月 29 日

報道関係各位

東京都千代田区永田町 2-13-1  
株式会社 QLife(キューライフ)

---

**脳卒中を予防する抗凝固療法 その継続意識に医療者と患者で大きな差**  
**医師の 67%、薬剤師の 56%、看護師の 58%が「患者と意識ギャップあり」**  
～医療者・患者横断 心房細動治療（抗凝固療法）における意識・実態調査～

---

月 600 万人が利用する日本最大級の病院検索・医薬品検索・医療情報サイト群ならびに医療者向けサービスを運営する株式会社 QLife(キューライフ/本社:東京都千代田区、代表取締役:山内善行)は、心臓血管研究所附属病院所長の山下武志先生をはじめ、国内の心房細動治療のトップドクターが在籍する NVAf (非弁膜症性心房細動) アドヒアランス向上委員会監修のもと、医師、薬剤師、看護師、介護士など脳卒中予防に携わる医療者と、抗凝固療法を行っている患者ならびにその家族、さらには抗凝固療法を中断した患者合計 650 名を対象に、心房細動治療（抗凝固療法）における意識・実態調査を実施した。調査は 2015 年 4 月 9～14 日にかけてインターネット調査で行われた。

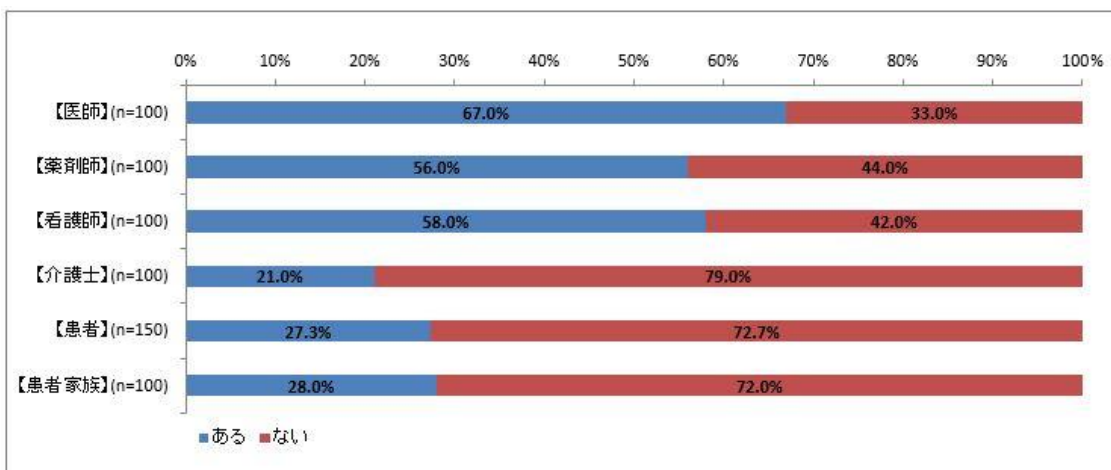
- ◆抗凝固療法の継続の意識ギャップに医療者と患者に差
- ◆「説明したこと」「説明されたこと」でギャップあるも、患者の 28.4%「十分に理解できた」
- ◆医療者/患者の抗凝固療法の知識量・情報源にバラつき
- ◆再診時、患者の82%は医師もしくは薬剤師に服薬状況を確認されている
- ◆「アドヒアランス」「日常生活(食事も含む)」「費用面」が治療計画変更のきっかけに

抗凝固療法は、治療開始時にその目的・意義はもちろん、日常生活上や他科受診時などの注意など、多岐にわたる情報提供が必要となる。ところが、医療者が情報提供に割ける時間は短く、どうしても患者側にとって情報過多となってしまう、“総論”が理解されても、実践的な“各論”を詳細に伝えきれず、アドヒアランスが低下する要因の1つになることが推察される。さらに、こうしたコミュニケーションギャップは、医療者と患者の間にとどまらず、同じ医療者間でも起こっていることが今回の調査からわかった。心房細動患者の脳卒中予防に重要な役割を果たす抗凝固療法の実施において、患者に服薬を継続する動機づけを行うためには、複数回に分けて情報提供を行うなど、提供する情報の優先順位づけを行うとともに、医師は情報提供、薬剤師は服薬チェック、モニタリングを中心に行うなど、医療者側の役割分担を明確化し、チーム医療として患者に向き合うことが重要であろう。

詳細な調査結果は、[http://www.qlife.co.jp/news/150529qlife\\_research.pdf](http://www.qlife.co.jp/news/150529qlife_research.pdf) からもダウンロードできる。

### ◆抗凝固療法の継続の意識ギャップに医療者と患者に差

医師の 67.0%、薬剤師の 56.0%、看護師の 58.0%が「ギャップあり」と回答。患者の 72.7%が「ギャップはない」と回答。

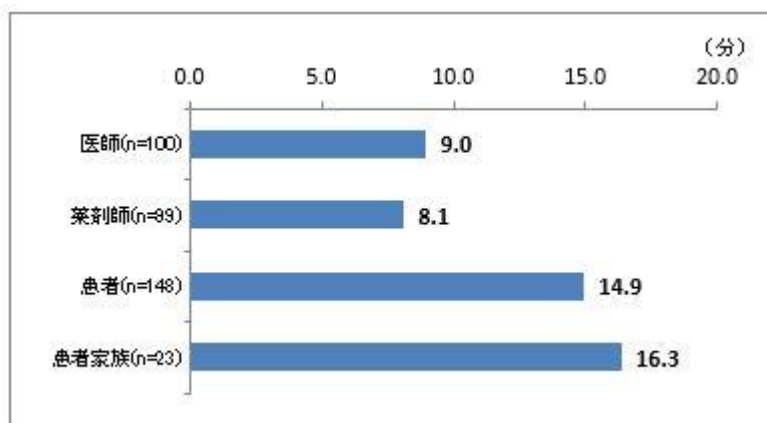


【医師・薬剤師・看護師・介護士】抗凝固療法を継続してもらうことについて、医療者(医師、看護師、薬剤師)と患者に意識のギャップはあると思いますか。

【患者・患者家族】抗凝固薬を飲み続けることについて、医療者(医師、看護師、薬剤師)と患者に意識のギャップはあると思いますか。

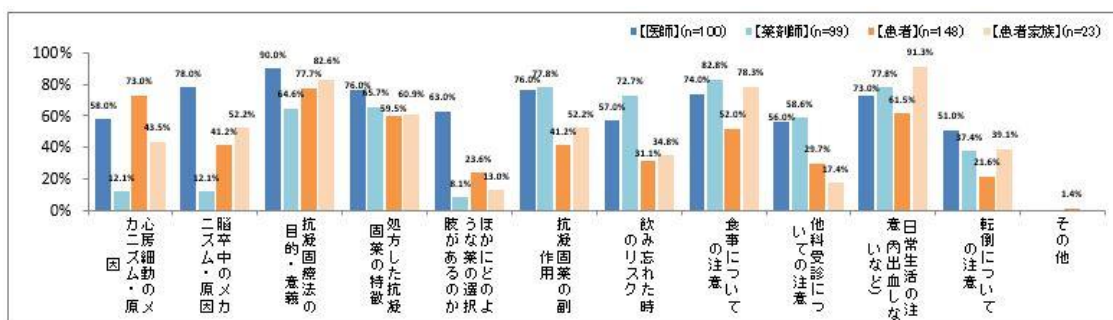
### ◆「説明したこと」「説明されたこと」でギャップあるも、患者の 28.4%「十分に理解できた」

患者説明にかける時間は医師で平均 9.0 分、薬剤師で平均 8.1 分。医師の 57.0%、薬剤師の 72.7%が「飲み忘れた時のリスク」を説明するも、患者側は 31.1%しか「説明されたと感じていない」。説明内容について、患者の 28.4%が「十分に理解できた」と回答も、医師「十分に理解できていると思う」は 10.0%。



【医師・薬剤師】抗凝固療法について患者説明にかける時間はおよそどのくらいですか。

【患者・患者家族】抗凝固療法について説明された時間はおよそどのくらいですか。



【医師・薬剤師】抗凝固療法を開始するにあたり、説明する事柄について、当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】

【患者・患者家族】抗凝固療法を開始するにあたり、説明された事柄について、当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】

### ◆医療者／患者の抗凝固療法の知識量・情報源にバラつき

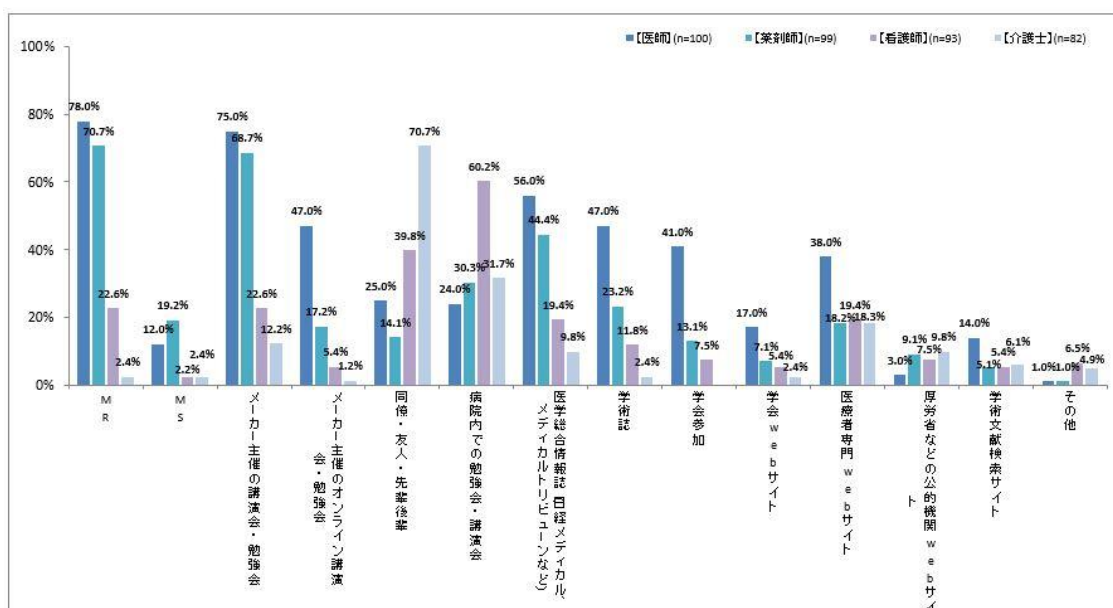
抗凝固療法の知識量「かなり詳しく説明できる」:

心房細動のメカニズム 医師 43.0%、薬剤師 9.0%、看護師 7.0%、介護士 0%、患者 10.0%。

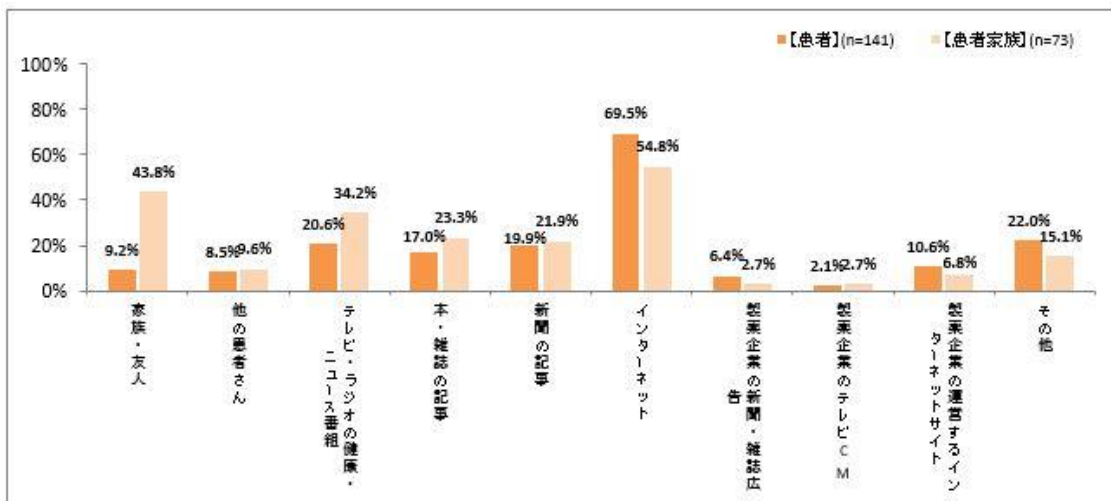
抗凝固療法の目的 医師 54.0%、薬剤師 20.0%、看護師 17.0%、介護士 1.0%、患者 15.3%。

抗凝固療法で気をつけるべき食事 医師 48.0%、薬剤師 26.0%、看護師 17.0%、介護士 2.0%、患者 15.3%。

情報源: 医師、薬剤師「MR」「メーカー主催の講演会・勉強会」、看護師「病院内での勉強会・講演会」、介護士「同僚・友人・先輩後輩」が主。患者「インターネット」。服薬中断者は「家族・友人」「他の患者」の情報も重視する傾向。



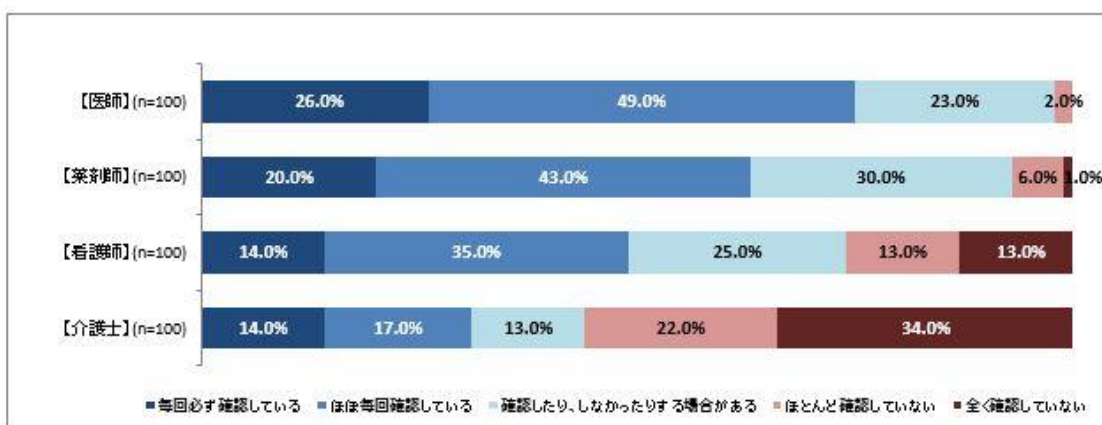
【医師・薬剤師・看護師・介護士】抗凝固療法に関する情報源として当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】



【患者・患者家族】抗凝固療法に関する情報源として当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】

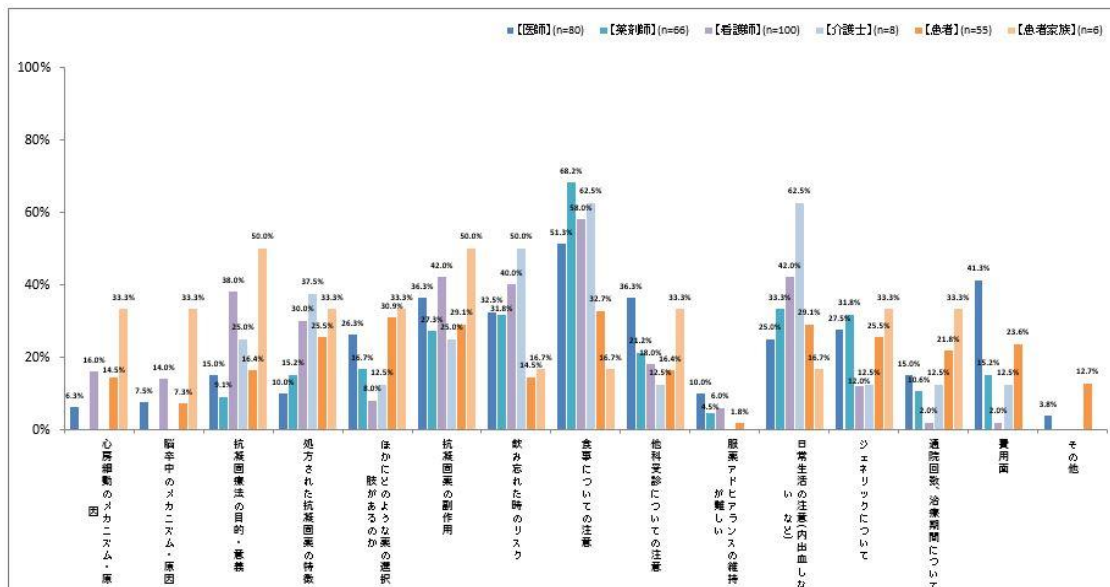
◆再診時、患者の82%は医師もしくは薬剤師に服薬状況を確認されている

患者の服薬アドヒアランス「毎回必ず」「ほぼ毎回」確認する：医師 75.0%、薬剤師 63.0%、看護師 49.0%、介護士 31.0%。



【医師・薬剤師・看護師・介護士】再診時、患者の服薬アドヒアランスを確認しますか。

◆「アドヒアランス」「日常生活(食事も含む)」「費用面」が治療計画変更のきっかけに  
抗凝固療法についての質問・要望: 患者「ある」36.7%。「食事についての注意」「日常生活について」「他の薬の選択肢」が多い内容。



【医師・薬剤師・看護師・介護士】質問・要望を受けた事柄について、当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】

【患者・患者家族】質問・要望を伝えた事柄について、当てはまるものを全てお教えてください。【複数回答】

今回の調査結果に対し、山下先生は以下のようにコメントした。

「抗凝固療法は、その意義や目的はもちろん、日常生活や他科受診時の注意など、治療開始時に伝えるべきことが多くあります。ところが、その情報があまりにも多岐に、そして短い時間に一度に提供されるため、患者さんにとって情報過多になっていると思われます。“一度説明してもらったから聞きづらい”などと思わずに、分からないことがあったら、遠慮せずにごくどん医師や薬剤師に質問してください」 (取材協力：バイエル薬品株式会社)

### 【調査実施概要】

#### ▼調査主体

株式会社 QLife(キューライフ)

#### ▼実施概要

##### (1) 調査対象とサンプル数

医師:100人	月5名以上のワルファリン or 新規経口抗凝固薬の処方経験のある内科・循環器科開業医:50人
	月5名以上のワルファリン or 新規経口抗凝固薬の処方経験のある循環

	器科勤務医:50人
薬剤師:100人	月5名以上のワルファリン or 新規経口抗凝固薬の処方経験のある病院薬剤師:50人
	月5名以上のワルファリン or 新規経口抗凝固薬の処方経験のある市中薬局薬剤師:50人
看護師:100人	月3名以上のワルファリン or 新規経口抗凝固薬を服用している患者さんの看護経験がある:100人
介護士:100人	ワルファリン or 新規経口抗凝固薬の服用している患者と接点がある:100人
患者:150人	現在、ワルファリン or 新規経口抗凝固薬を服用している患者本人(治療開始から1年未満):50人
	現在、ワルファリン or 新規経口抗凝固薬を服用している患者本人(治療開始から1年以上):50人
	抗凝固療法経験者で、現在は薬をのんでいない人:50人
患者家族:100人	現在、ワルファリン or 新規経口抗凝固薬を服用している患者と同居している家族:100人

(2) 有効回収数: 650人

(3) 調査方法: インターネット調査

(4) 調査時期: 2015/4/9~2015/4/14

---

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名 : 株式会社 QLife (キューライフ)

所在地 : 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-13-1 ボッシュビル赤坂 7F

代表者 : 代表取締役 山内善行

設立日 : 2006年(平成18年)11月17日

事業内容: 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念: 医療と生活者の距離を縮める

URL : <http://www.qlife.co.jp/>

---

本件に関するお問い合わせ先:

株式会社 QLife 広報担当 田中

TEL : 03-3500-3235 / E-mail : [info@qlife.co.jp](mailto:info@qlife.co.jp)

---